

空港制限区域内の自動走行に係る実証実験

A: 全日本空輸(株)

※ 詳細は別途実施者より公開予定。

佐賀空港・中部空港



トーイングトラクター(注2)

自動運転: Level3(条件付自動運転)注1

車両: TE152(豊田自動織機)
(牽引タイプ: 最大6台連結)

技術: 車両自律型
(カメラ、ジャイロ、GPS等)

佐賀空港

時期: 2019年9月30日～10月11日

ルート: 貨物地区～手荷物仕分場～スポット
中部空港

時期: 2020年1月～2月

ルート: 調整中

注1: 自動運転Level3
システムが全ての運転タスクを実施するが、
システムの介入要求等に対してドライバー
が適切に対応することが必要。

B: 日本航空(株)

※ 詳細は別途実施者より公開予定。

成田空港



トーイングトラクター(注2)

自動運転: Level3(条件付自動運転)注1

車両: TractEasy(TLD)
(牽引タイプ: 4台連結)

技術: 車両自律型
(GPS、LiDAR等)

時期: 2019年10月31日～2020年3月31日

ルート: 手荷物仕分場～
ターミナル沿い～91番スポット

注2: トーイングトラクター
空港内において手荷物・貨物を輸送
するコンテナドーリを牽引する車両

D: AIRO(株) (協力会社: スイスポートジャパン(株))

関西空港

車両: ZMP社製(予定)

技術: 車両自律型(GPS、LiDAR等)

時期: 2020年1月～2020年2月(予定)

ルート: スポット～貨物管理場所(調整中)

C: AIRO(株) (協力会社: 日本航空(株))

成田空港

車両: ZMP社製(予定)

技術: 車両自律型(GPS、LiDAR等)

時期: 2020年1月～2020年2月(予定)

ルート: 手荷物仕分場～ターミナル沿い～91番スポット

※ 2019年9月時点の情報で今後変更の可能性があります。